

紀北分院 外来診療医担当表

2025年9月1日現在

		月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	3診	糖尿外来 芝		糖尿外来 芝		リウマチ・膠原病 田中 [第1・3・5週] 泌尿器外来 倉本 [第2・第4週]	肝臓 佐藤 ※再診のみ	脳神経内科 小上		消化器 外来	
	4診	循環器 疋田	皮膚科 神人 [第1・3・5週] 田端 [第2・4週]	呼吸器 中西	総合診療(循環器) 羽野	総合診療 廣西		皮膚科 木村 [第1・3・4・5週] 川端 [第2週]		総合診療(循環器) 羽野	
	新患5診	小上		高		応援医師		上野山		川口	
	東館2診			脳神経内科 梶本		脳神経内科 梶本				認知症センター 梶本	
脳外	6診			認知症センター 深井	脳神経外科 深井	脳神経外科 深井		脳神経外科 深井			
整形外科	7診	整形 前田		整形 中川	足の専門外来 浅井 [奇数週]	整形 太地		整形 佐々木		整形 中川	
	8診	整形 古梅		整形 佐々木		整形 古梅		整形 太地		整形 前田	
眼科	1診	中田		岡田	安田 岩西 住岡 [第1週] [第2週] [第3週] 笹賀 鈴木 [第4週] [第5週]	中田	子ども外来 石川	黄斑外来 小門	太田	岡田	術前外来
	2診			小門	太田			中田		小門	
小児科				樋口			応援医師			青柳	
リハビリ 東館1診	笠松			笠松		笠松		笠松		笠松	

診察受付 月曜～金曜：午前8時45分～11時30分 再診で予約のある方は指定時間（予約票の記載時間）

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

紀北分院 予約センター（受付時間8時45分～15時） TEL:0736-22-4600

紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（9時～17時） TEL:0736-26-3004

※最新の情報は
紀北分院ホームページにも
記載しています。



あじさい

2025

Vol.52

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 広報誌



和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院東館 7月14日(月) 開業

東館開業に先立ち、7月6日（日）に竣工式と内覧会を執り行いました。

竣工式では、地元の行政関係者や医療機関関係者など多くの方々にご参加いただき、東館の完成を祝いました。午後には内覧会を開催し、近隣住民の方々に、開業前の館内をご覧いただきました。

完成した東館は1階にリハビリテーション科を移転整備し、訓練スペースをこれまでの1.7倍に拡張するとともに、最新のリハビリ機器を導入することにより、リハビリ環境とその機能を大幅に拡充しています。

今後も地域のみなさまが元気に過ごせるようサポートいたします。まずはお気軽にリハビリテーション科外来を受診しご相談ください。



肩こり予防体操

寒暖差の激しい季節になりました。気温の差が大きいと自律神経が乱れ、筋肉の緊張や血行不良から肩こりが起こりやすくなります。肩回りの筋肉をほぐし血行を良くするストレッチをご紹介します。

1) 肩上げ体操

- ① 肩をすくめます
- ② すくめた状態で3秒保持します
- ③ すっと肩を下げます
- ④ ①～③を5回繰り返します



2) 肩回し体操

- ① 両肩を指先で触ります
- ② 肘で円を描くように前に回します
- ③ 肘で円を描くように後ろに回します
- ④ ②～③を5回ずつ繰り返します



※指先がつかない場合は
肩を回すだけでも効果
があります。肩甲骨を
大きく回すイメージで
回しましょう

【注意点】どちらの体操も痛みやしびれが出現する場合は実施しないでください。
首や肩を手術されたことのある方はまず医療機関にご相談のうえ行ってください。

お知らせ ・紀北分院広報誌「あじさい」は春夏秋冬の年4回発行します。

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
分院長 岡田 由香

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219
TEL/0736-22-0066(代) FAX/0736-22-2579

紀北分院
ホームページ



紀北分院広報誌
「あじさい」
バックナンバー



ホームページURL▶http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html

2025年9月発行



病院機能評価の認定を受けました

令和7年1月に公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、「一般病院2」として認定されました。

令和元年6月の第1回認定以来、2回目の認定となります。

この病院機能評価は、国民が安全で安心な医療を受けられるよう、「患者中心の医療の推進」、「良質な医療の実践1」、「良質な医療の実践2」、「理念達成に向けた組織運営」の4つの評価領域から構成されている項目について審査が行われ、全ての項目について一定水準を満たしている場合に認定されるもので、全国で2158、県内で15の病院が認定を受けています。（令和7年7月11日現在）

今後も継続して質の高い医療を提供し、患者さんがより一層安心して医療を受けられる病院を目指します。



掲載内容

- 東館竣工式、内覧会の開催について
- 病院機能評価について
- 新任ドクターのご挨拶
- 小児科からのご案内
- がん検診・特定健診・脳ドックのご案内
- 外来診療医担当表
- 肩こり予防体操



新任のご挨拶



脳神経外科
准教授／**深井 順也**
診察日：火、水、木

令和7年4月より、紀北分院・脳神経外科を担当することになりました。大阪府大阪市出身ですが、和歌山県立医科大学を卒業した後も、同大学附属病院・診療医（当時）として、脳神経外科から臨床研修を開始しました。医師臨床研修を終了後、和医大・脳外科へ入局し、同関連病院での勤務を経て、和医大の臨床研究医（当時）・大学院生・学内助教・助教・講師・准教授として現在まで脳神経外科の研究・教育・診療に従事して参りました。具体的には、診療面では専門分野にこだわらず『脳神経外科一般（脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍など）』に、研究面では主なテーマとして『悪性脳腫瘍の臨床と病理』に取り組んでいます。

現在のマイ・トピックは、紀北分院の医療圏においても大いにニーズがあると思われる『脳ドック』、『頭痛』、『認知症』で、各関連学会認定専門医を目指して研鑽を積みつつ、同方面への診療領域拡大を目指しています。いずれにおきましても、当方のモットーである『患者さんとの対話』を重視した診療を心がけて参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

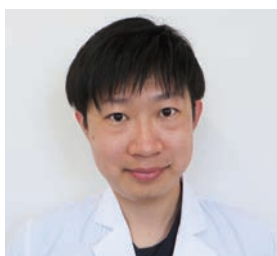


内科
助教／**芝 みちる**
診察日：月、火

令和7年4月より紀北分院内科に赴任いたしました、芝みちると申します。外来では主に糖尿病を含めた代謝・内分泌疾患を担当させていただきます。

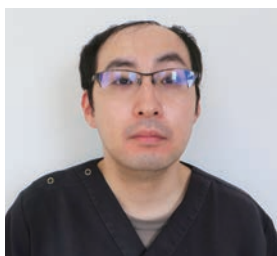
糖尿病を含めた代謝疾患は、以前は「生活習慣病」と呼ばれており、非常にありふれた疾患・病態となっています。適切な治療や管理によって糖尿病のない方と遜色ない日々を送ることが可能となってきました。当院では通常の外来診療に加え、フットケアや腎症予防の指導を併せて行っています。また、今年度より糖尿病教室を数年ぶりに再開することとなりましたので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

患者様一人ひとりのライフスタイルに合わせた治療や管理方法を提供し、安心して生活していただけるよう全力を尽くしサポートいたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。



内科
助教／**上野山 郁人**
診察日：木

このたび着任いたしました上野山郁人と申します。これから地域の皆様に信頼される医師を目指し、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。総合診療科として患者さん一人ひとりの背景や生活にも目を向けながら、必要に応じて院内やほかの医療機関の専門医とも連携し、最善の治療をご提供できるよう努めさせていただきます。外来の風邪や生活習慣病から、入院治療が必要な急性期疾患まで切れ目なくサポートし、予防や健康づくりにも力を入れます。体調のことや健康の不安など、どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。



内科
助教／**小上 修平**
診察日：月、木

令和7年4月より紀北分院の内科に赴任させていただきました小上修平（おがみ しゅうへい）と申します。これまで主に脳神経内科医として県内各地で診療にあたってきました。紀北分院でも内科外来に加えて脳神経内科外来を担当させていただきます。

脳神経内科ではパーキンソン病や頭痛症などが主な対象疾患となります。こういった疾患の多くが日常生活動作に影響を及ぼします。知らず知らずのうちに症状が出てきて、いつしかそれが当たり前になり、症状を我慢していることもあります。現在は多くの薬が登場してきて、治療選択肢が増えています。ぜひ一度ご相談いただければと思います。

紀北地域の診療に丁寧に対応していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



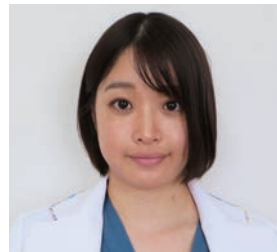
整形外科
助教／**古梅 祐**
診察日：月、水

令和7年7月より整形外科に就任しました古梅祐と申します。

当院は脊椎ケアセンターでございますが前の勤め先は和歌山市内で人工関節センターを掲げていた済生会和歌山病院に勤めておりました。

日ごろの皆様の腰痛、関節痛、些細なことなんでもお気軽にご相談ください。歳のせいだと諦めているその痛み、実は治療できるかもしれません。自己解決せずに受診していただけたら幸いです。

新任のご挨拶



リハビリテーション科
助教／**笠松 優衣**
診察日：月～金

令和7年4月より紀北分院リハビリテーション科に赴任いたしました笠松優衣（かさまつ ゆい）と申します。

私は和歌山県立医科大学リハビリテーション科に入局後、疾病の積極的な治療が行われる急性期、急性期を経過し在宅復帰に向けたリハビリテーションを含めたさらなる医療が必要な回復期、一通りの治療が終わり各々の地域で生活していく生活期と全ての時期におけるリハビリテーション診療にあたってまいりました。当院赴任前には特に生活期のリハビリテーション診療に力を入れている那智勝浦町立温泉病院で地域の方々の在宅生活を維持するためのリハビリテーションに携わってまいりました。当院でもその経験を活かし、在宅生活を維持するためのリハビリテーション入院を積極的に行っていく所存です。ADLの低下には骨関節疾患や脳卒中のみならず様々な原因が複雑に絡み合っています。各診療科の医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、心理士など様々な職種のスタッフと協同し紀北の地域住民の方々が元気で若々しくいられるお手伝いをしたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。



眼科
学内助教／**太田 勝久**
診察日：火、木

令和7年4月より紀北分院眼科に着任いたしました太田勝久（おおた かつひさ）と申します。昨年まで和歌山県立医科大学本院で勤務させていただいておりました。生まれは和歌山ではありませんが母方の親類が橋本市を始め和歌山県内各所におり、大学生活も和歌山で過ごし気づけば12年になります。

医療において、患者さんの生命の状態を表す指標をバイタルサイン（体温、脈拍、呼吸数、血圧）と言いますが、眼科のバイタルサインは視力と眼圧です。

時々診療をする中で、突然片目が見えなくなったのに数日自宅で様子を見てしまい治療の機会を逃してしまう患者様がいらっしゃいます。網膜中心動脈閉塞症のように、治療の機会が発症後数時間程度しか猶予のない疾患もあります。“急な”視力低下を自覚された場合はすぐに眼科受診をお願いします。

お知らせ

紀北分院小児科よりご案内

当院の小児科では、発熱や風邪などの一般的な疾患、アレルギー疾患、発達障害等に対応し、保護者の方が安心してご相談いただける環境づくりに努めています。

地域のお子さまの健やかな成長をサポートし、ご家族と一緒に安心できる医療を提供できるよう心がけています。どうぞお気軽にご相談ください。

診療日は火・水・金となっております。詳しくは外来診療医担当表をご覧ください。

お知らせ

がん検診・特定健診・脳ドックのご案内

橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町にお住まいの方は、当院で各種がん検診や特定健診を受診いただけます。ご自身の健康管理のため、定期的に受診しませんか。（年齢やお住まいの市町村によって、受診できる条件や負担金額が異なります。詳しくは市町村から届く案内をご確認ください。）

※令和8年1月31日まで、胃内視鏡検査は受診できませんので、何卒ご了承ください。

認知症や脳卒中が心配な方は、毎週水曜日に35,200円（自費・税込）で頭部MRI検査をメインとした脳ドックを受けていただけます。（和歌山県市町村職員共済組合、公立学校共済組合に所属の方は、各組合からの補助があります。）どちらもお気軽にお問い合わせください。

紀北分院医事班：0736-22-0066（代表）